

大型建築に関する基本的考え方

■基本的な考え方とシーン景観

①安心して歩いて楽しめる温泉街を実現する

【シーン景観】



通りで安心して歩く



通りで飲食を楽しむ



外湯巡り

■基本的な考え方とシーン景観

②川への眺望と川沿いの温泉街の風情を大切にする

【シーン景観】



川床から川の眺望を楽しむ



置き座で川を楽しむ



建物の窓から
川の眺望を楽しむ

▲「風流源氏つくた」／藤村正雄、三代松川豊樹 画
▼「夕陽み」／池田立義 画

■基本的な考え方とシーン景観

③温泉街の風情を感じるもてなしを演出する

【シーン景観】



屋外デッキで
通りに活気を生み出す



開放的な店の設えで
通りに活気を生み出す



魅力的な商品陳列やサインで
通りに活気を生み出す



足湯で
温泉街の風情を楽しむ

■基本的な考え方とシーン景観

④温泉街の風情を感じる夜間景観を実現する

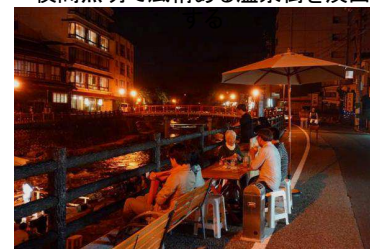
【シーン景観】



夜間照明で風情ある温泉街を演出



夜間照明で夜のイベントを演出する



夜間照明で夜も安心して歩ける



夜間照明で温泉街の夜景を楽しむ

■公共空間との関係

【公共空間と一緒にまちづくりや景観形成を推進する】

- 長門湯本温泉のまちづくり計画と連携し、敷地周辺の街路や河川などの公共空間について、活用や維持管理など、まちづくりとの関わりを生み出しましょう。



河川活用



道路活用



外湯巡り



賑わいイベント



町並み配慮



もてなし演出



リノベーション



夜間景観演出

■公共空間との関係

【車のアクセス・駐車場の配置】

- 長門湯本温泉では、そぞろ歩きのできる安心して歩いて楽しめる温泉街を目指しています。
- 車のアクセスや駐車場の配置は地区の交通計画に配慮しましょう。（平成30年度に交通計画を策定）
- 路上駐車に対する規制
- そぞろ歩きの区間には極力駐車場を設置しない。
- 車のアクセスは原則バイパスなどから取る。
- イベント時、日常時の交通規制対応 等



○国道沿いの駐車場



○そぞろ歩きのできる温泉街

■道から建物までの中間領域の設え

【駐車場のデザイン】

- 大規模な建物には、宿泊者や入居者向けの大規模な駐車場が必要です。
- 駐車している車が町並みに露出しないように生垣や板塀で隠しましょう。
- 駐車場の入口は集約し、入口の幅は最小限としましょう。



○駐車場を町並みに露出しない配慮



×町並みに露出した駐車場

■道から建物までの中間領域の設え

【敷地境界のデザイン】

- 大規模建物は敷地も広くなります。敷地周縁部は板塀や石塀、門、生垣や庭園などにより、長門湯本温泉らしい上質な街並みの形成を目指しましょう。
- 金網フェンスやブロック塀の設置は避けましょう。
- 擁壁は石積擁壁の意匠を基本とし、コンクリート擁壁が町並みに露出するのは避けましょう。



○造園による法面

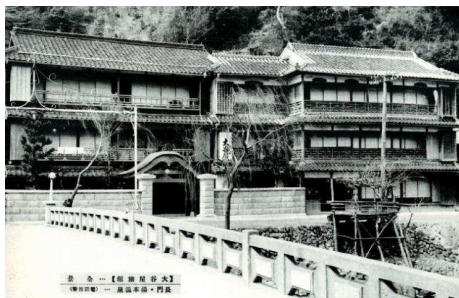


○門、垣根、背後の高木等、上質な構え

■通りから見える建物の設え

【開口部の意匠】

- 川への眺望を楽しむことが長門湯本温泉の大きな魅力です。
- その結果、多くの旅館が川に対して開放的な設えとなっており、水平方向の連続窓や高欄、肘掛手摺などがその表れとして温泉街の風情を生み出してきました。
- 連続窓や高欄、肘掛手摺など、長門湯本温泉の川への眺望を楽しむ文化が生み出してきた温泉街の風情を継承しましょう。



○川に対して開放的な設えとその風情



川の眺望を楽しむ

■通りから見える建物の設え

【建物の意匠・色彩】

- 単調でのっぺりとした凹凸の無い外壁の意匠は避け、外壁を雨風から守る軒の出の確保や開口部へ庇を設置するなど、温泉街の風情を感じる豊かな建物の表情を生み出しましょう。
- 外壁の色彩は自然素材が経年美化した色調である、白、ベージュ（聚楽系）、グレー、濃茶などのアースカラーとしましょう。



○アースカラーの外壁の色彩



○表情のあるかつての旅館

■通りから見える建物の設え

【建物規模】

- 周囲の建物の川への眺望を妨げない建物の高さや配置としましょう。（眺望への配慮）
- 敷地周辺部の外構デザインなどにより、建物のボリューム感を緩和するようにしましょう。（ボリューム感への配慮）
- 上層部のセットバックや基壇部分のデザインの分節など、建物高さを沿道の街並みになじませましょう。（高さへの配慮）
- 連続する壁面が大きい場合、長く単調な壁面を連続させず、適度に分節したデザインとしましょう。（分節への配慮）



○ボリューム感への配慮



○分節への配慮

■通りから見える要素の設え

【設備機器】

- 中高層建築で設置される設備機器は大型となるため、町並みを乱さないように設置位置や目隠しに配慮しましょう。



○屋上の屋根の背後に設置

■通りから見える要素の設え

【サイン】

- 看板を設置する場合は、町並みを乱さないように、適切な規模やデザインに配慮し、設置個所は極力最小限にしましょう。
- 大型の建植サイン、ポールサイン、内照式サイン等の設置は避けましょう。



○木製の看板



○文字のみの内照サイン

■通りから見える要素の設え

【夜間景観】

- 温泉街の風情を感じる夜間景観を生み出しましょう。
- 外構周縁部の照明は地域の安全安心や上質な夜間景観形成に配慮しましょう。
- まちのあかりの色は、電球色にしましょう。
- 門灯や軒先の提灯などの外部のあかりや、道に面した窓際やお店のあかりは22時まで点灯しましょう。
- 道や広場に面した樹木はできるだけライトアップしましょう。

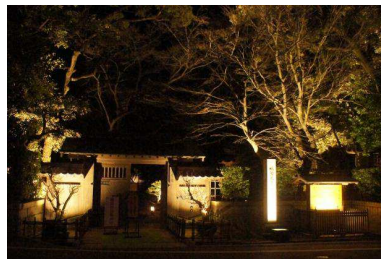


○落ち着いた電球色での統一



○壁付け灯による演出

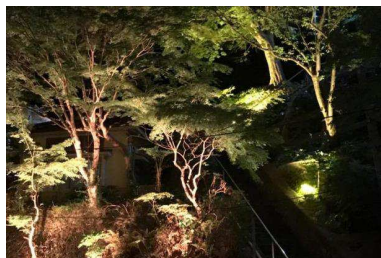
■通りから見える要素の設え



○外構周縁部の演出・門・樹木



○庭園や室内あかりの漏出し



○敷地外周部の演出



○置き照明による演出